図　書　だ　よ　り

図書館のおはなし

みなさんがいつも使っている「図書室」。正しくは「学校図書館」といいます。

図書館では、お話の本を読んだり、知りたいことを調べたりすることができます。

「こんな感じの本は他にあるかな？」「もっとこれについて詳しく調べたい！」など、図書館のことや本のことで知りたいこがあれば聞きにきてください。

おもしろい本は見つかりましたか？

図書館オリエンテーションをしてから、1か月がたちました。図書館でのすごし方、本のあつかい方、上手に守ってくれていますか？

磯島小の学校図書館には全部で7500冊ほどの本があります。古い本と新しい本を毎年入れ変えるようにして、図書館はアップデートし続けています。前からずっと残っている本にも新しく入った本にも、それぞれに違った魅力があります。

みなさんの感じる魅力をぜひ見つけてください！

本を大切にするために

●ページを折ったり、落書きしない

→本は紙でできていて、一度折り目をつけると跡が残ります。落書きも跡が残ります。状態によっては、二度と読めなくなります。気をつけましょう。

●水にぬらさない

→紙は水に弱いです。ぬれるとぐにゃぐにゃになったり、ページ同士がくっついたりします。雨の日は本がぬれないようにする、読みながら飲み物を飲まないなど、気をつけましょう。

☆しおりを使ってみよう

→どこまで読んだかわからなくなる人は、しおりを使うと便利です。読んでいたところを開けたままひっくり返して置いているのを見かけますが、ページ同士をくっつけているのりがはがれ、ページが取れやすくなってしまうので、やめてください。学校図書館にみんなで使うしおりが置いてあるので使ってみてください。

みんなで使うしおりなので、使ったら必ず返しましょう。

わたしたち本は、とてもこわれやすいです。

みなさん、どうかわたしたちが図書館でながく読み続けてもらうために大切にしてください。

おすすめ　しょうかい　～テーマ　あめ～

今回のおすすめ本は、６月中は特集コーナーに展示します。貸出できます。

分類：Ｆヒナ

『雨ふる本屋』日向　理恵子／著（童心社　2008）

　ルウ子はおつかいから帰る途中、しとしとふっていた雨が激しくふりだしたので、市立図書館へかけこみました。ルウ子は病気がちの妹サラがお母さんをひとりじめすることにモヤモヤし、いじわるするつもりで一匹のカタツムリをレインコートのポケットにしのばせていましたが、本棚の間を歩いているうちにそのカタツムリがポケットから落ちていました。ルウ子がポケットに戻そうと手を伸ばすと、カタツムリは思わぬスピードで逃げ出しました。あわてて追いかけていくと、どんどん周りの景色が変わり、いつのまにか部屋の中に雨がふる不思議な場所へとたどり着いていました。

分類：450

『雨と雪の大研究』日本気象協会／監修（ポプラ社　2013）

　これから雨が多くなる季節になります。一言で「雨」と言っても色々な雨があるのを、肌で感じている人もいるのではないでしょうか？冷たくて寒い雨、暖かくてじめじめとしている雨、降っているかわからない雨や、バケツをひっくり返したような激しい雨もあります。この本を読めば雨のメカニズムについてわかるかもしれませんね。

分類：518

『マンホール大百科　西日本編』／著（すずき出版　2020）

　足元を見ると見かけるマンホール。地下にはわたしたちの生活を支えてくれる下水道があります。そのマンホールにどんな絵が描いてあるか、見たことはありますか？実は、描いてあるものは各自治体によって異なるんです。その土地にちなんだ絵柄が描かれているので、この本を読んだ後はぜひ足元もチェックしてみてください。